

- ② 昨年度に引き続き教育課程の研究、各教科学習指導法の研究、能力・適性に応ずる教育の研究、新しい人間像養成の研究などに焦点をおいて努力していきたい。重
- ③ 研究成果刊行として会誌「福島県高校教育」第3号を発刊していきたい。

(2) 昭和41年度の事業の実績

事業名	開催月日	開催場所	参加人数	研究主題
昭和41年度研究総会 高等学校視聴覚ライ ブラリー設置に関する 研究調査	42. 2. 6 41.4月～ 42.3月	福島商業高校 県内一円	100 延50	後期中等教育の諸問題 県内5地区に高校視聴 覚ライブラリーを設置す るための調査研究

1	研究会名	福島県高等学校教育研究会	部会名	数 学	会員数	370人
2	研究(部)会長氏名	酒 井 忍	在勤校	県立磐城女子高等学校長		
3	事務所所在校名	県立福島西女子高 等学校	責任者氏名	菅 野 昭 夫		

4 研究会の事業

(1) 昭和41年度の会運営・事業に対する方針

- ① 各支部を中心として、研究調査・講演会等研究活動を行なう。
- ② 福島県の実情を基礎にした高校数学教育現代化の実践的研究を継続的に行なう。
- ③ 中・高・大の一貫した数学教育の研究

(2) 昭和41年度の事業の実績

事業名	開催月日	開催場所	参加人数	研究主題
昭和41年度数学部 会研究大会	41.10.14	内 郷 高 校	150	今後の数学教育はどうある のがよいか
各支部単位の数学 研究会	41.6月～	県内5地区	220	数学教育の現代化および問 題点について
第4回福島県数 学教育講習会	42. 1.22	郡山工業高校	50	数学教育の現代化について

1	研究会名	福島県高等学校教育研究会	部会名	理 科	会員数	350人
2	研究(部)会長氏名	新 谷 茂	在勤校	県立安積高等学校長		
3	事務所所在校名	県立福島高等学校	責任者氏名	佐 藤 正 義		

4 研究会の事業

(1) 昭和41年度の会運営・事業に対する方針

- ① 理科教育上の諸問題について研究する
- ② 研究誌を編集する
- ③ 各校の理科クラブの活動を活発にする

(2) 昭和41年度の事業の実績

事業名	開催月日	開催場所	参加人数	研究主題
昭和41年度理科 部会研究総会	41. 8. 1 ～2	喜多方工業 高 校	180	理科教育の近代化について
理科部会地学教 育研究会	41. 9. 5	川 俣 高 校	80	川俣周辺の地質調査
各支部単位の研 究会、分科会	41.5月～ 42.2月	県内5地区	延約 500	研究発表および学習指導の進 め方

1	研究会名	福島県高等学校教育研究会	部会名	体 育	会員数	240人
2	研究(部)会長氏名	吉 田 安 世	在勤校	県立保原高等学校長		
3	事務所所在校名	県立福島女子高 等学校	責任者氏名	渡 部 仁 一 等		

4 研究会の事業

(1) 昭和41年度の会運営・事業に対する方針

- ① 組織の組化 強
- ② 基礎的研究の重視

(2) 昭和41年度の事業の実績

事業名	開催月日	開催場所	参加人数	研究主題
第9回福島県学 校体育研究集会	41.10.11 ～12	安 積 高 校 郡山女子高校	103	小学校・中学校・高等学校 における学習の一貫性につ いて
第9回福島県学 校体育研究集会 第5分科会	41.10.11 ～12	芳 賀 小	96	球技の効果的指導について

1	研究会名	福島県高等学校教育研究会	部会名	音 楽	会員数	60人
2	研究(部)会長氏名	新 谷 茂	在勤校	県立安積高等学校長		
3	事務所所在校名	県立福島女子高 等学校	責任者氏名	佐 藤 政 夫		

4 研究会の事業

(1) 昭和41年度の会運営・事業に対する方針

- ① 音楽学習指導法の向上（日本歌曲の取扱いについて）
- ② 合唱指揮法の研究

(2) 昭和41年度の事業の実績

事業名	開催月日	開催場所	参加人数	研究主題
昭和41年度音楽 部会研究大会	41. 5.18 ～19	相 馬 女 子 高 校	59	日本歌曲の扱いについて
福島県高等学校 音楽学習発表会	41. 7.22	会津若松市 市 民 会 館	3,000	合唱発表
指揮法実技講習会	42.12.12	福島女子高校	42	合唱指揮法
各地区単位音楽 学習発表会	41.6月～ ～12	県内4地区	延 2,800	合唱発表、学習指導法の研 究

1	研究会名	福島県高等学校教育研究会	部会名	美術工芸	会員数	60人
2	研究(部)会長氏名	渡 辺 良 雄	在勤校	県立富岡高等学校長		
3	事務所所在校名	県立福島高等学校	責任者氏名	藤 田 利 雄		

4 研究会の事業

(1) 昭和41年度の会運営・事業に対する方針

- ① 各支部の充実
- ② 教材研究（彫塑・鑑賞）を徹底的に行なう。

(2) 昭和42年度の事業の実績 昭和41年度の事業と

事業名	開催月日	開催場所	参加人数	研究主題
第11回美術工芸 部会研究大会	41. 6.13 ～15	若 松 女 子 高 校	50	彫塑、鑑賞の教材について
各支部の実技お よび教材研究	41.4月～ 42.2月	県内5地区	延 130	彫塑・鑑賞、描画・デッサン 等の教材研究・油絵写生・石 膏デッサンの描き方など
夏季彫塑実技研 究会	41. 8. 3 ～7	福 島 高 校	20	彫塑課題像制作
夏季絵画実技研 究会	41. 8. 7 ～9	安積幼稚園	25	油絵課題制作

1	研究会名	福島県高等学校教育研究会	部会名	書 道	会員数	35人
2	研究(部)会長氏名	白 若 和 天	在勤校	県立福島女子高等学校教頭		
3	事務所所在校名	県立福島女子高 等学校	責任者氏名	網 代 春 明		

4 研究会の事業

(1) 昭和41年度の会運営・事業に対する方針

- ① 高等学校における芸術書道教育の正しい発展をはかる
- ② 昭和41年度の事業の実績

事業名	開催月日	開催場所	参加人数	研究主題
書道教育研究 大会	41. 5.28 ～29	福 島 市 飯 坂 町	20	高校書道における臨書の諸問題
実態調査研究	41. 6.30 ～12.31			高校書道教育の現況と改善点
実技講習会	41. 8. 2	郡 山 市	98	実技の指導法について

1	研究会名	福島県高等学校教育研究会	部会名	英 語	会員数	370人
2	研究(部)会長氏名	佐 々 木 一 郎	在勤校	県立小名浜高等学校長		
3	事務所所在校名	県立福島女子高 等学校	責任者氏名	角 田 利 雄		

4 研究会の事業

(1) 昭和41年度の会運営・事業に対する方針

- ① 県大会をなるべく実質的なものとする。（公開授業、教授上の共通の悩み、中央講師の講演等を通して授業に直結する一層実のあるものとする）
- ② 各支部の活動を一層活発にするため、できるだけ経済的援助をする。
- ③ 研究誌の充実をはかる。
- ④ 新入生テストを県内高校すべてに協力してもらうために、